

2020年度 施策マネジメントシート【2019年度実績評価】

作成: 2020年 6月 14日

施策番号 5-2-1	施策名	効果的・効率的な行政運営	基本目標	住民と行政がともに考え未来へつなぐ自治のまちづくり		
			政策名	時代に即した行財政運営と行政サービスの推進		
	主管課 企画財政課	課長名 石田 哲	内線 220			
	施策関係課 総務課					

1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象	意図			結果
総合計画と行政改革大綱の取組を推進し、人工規模に合わせた効果的で効率的な行政運営をすすめます。		第5期総合計画 第10次行政改革大綱	総合計画:目標と掲げられた指標を実現する 行政大綱:対象実施計画を実現する			計画などに基づき、人口減少などに対応した効果的で効率的な行政運営に結びつける
成果指標	説明	単位	策定時(2017実績)	2019年度実績	2020年度(予想)	2022年度目標
① 第5期総合計画前記実施計画の施策評価(外部)のC以上の評価施策割合	総合計画推進委員会評価結果	%	94.4	85.0	80.0	100.0
② 職員満足度	職員アンケート	%	未実施	62.1	70.0	80.0%以上
③ 町の行政サービスに満足している町民の割合	住民意識調査	%	87.9	81.6	80.0	80.0%以上
④ 公共施設(建築物)管理面積	企画財政課調べ	m ²	192,482.26	190,679.6	190,679.6	191,072.4
成果指標 設定の考え方	①段階的に100%を目指す。②③年度による変動はあるものの、80%以上を維持する。④公共施設等総合管理計画の目標値とする。					

2. 施策の事業費

	2018年度決算	2019年度決算
施策事業費 (千円)	113,417	119,400
人工数(業務量)	5.9778	6.8231

3. 施策の達成状況

(1)施策の達成度とその考察			
①2019年度の成果評価	<input type="checkbox"/> 成果は向上した <input checked="" type="checkbox"/> 成果は変わらなかった <input type="checkbox"/> 成果は低下した	想定される理由	①2019年度から第5期総合計画が開始したことから、前年度との比較はできない。
②2022年度の目標達成見込み	<input type="checkbox"/> 現状の取組の延長で目標は達成できる <input checked="" type="checkbox"/> 現状の取組の延長で目標達成は難しいが、現行事業の見直しや新規事業の企画実施で目標達成は可能 <input type="checkbox"/> 事業の見直しや新規事業の企画実施をしても目標達成は難しい	根拠 (理由)	職員満足度については、目標値との乖離が大きいことから、新たな取り組みが必要である。
(2)施策の成果評価に対する2019年度事務事業の総括			
①施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業	総合計画推進事業 公共施設等総合管理計画推進事業	②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業	
③事務事業全体の振り返り(総括)	・公共施設等総合管理計画に基づき老朽化した公共施設(集会施設等)の再整備について地域協議を進め、公共ファシリティマネジメントの取組みの一環として、庁舎建設や温水プール改築に公民連携の取組みを進めている。 ・総合計画の進行管理(評価)を従来通り実施した。 ・行政改革大綱については、平成30年度で終了とし、行政経営ポリシーを新たに策定し、令和元年度からスタートした。		

(3)「施策の方針」実現に対する進捗結果

進捗結果	A	B	C	D	E
			○		

※該当に○印

- A:実現した
 B:(前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した
 C:(前期実施計画策定時と比較して)前進した
 D:(前期実施計画策定時と比較して)変わらない
 E:(前期実施計画策定時と比較して)後退した

4. 施策を取り巻く状況変化・住民意見等

施策を取り巻く状況と今後の予測	<p>「茅室町自治基本条例」や「第5期茅室町総合計画」の推進はまちづくりの将来像、基本目標の達成のための町政運営の原則であり、基本方針である。今後も進行管理をしっかりと行い、改善を図りながら行政運営を進めていかなければならない。</p> <p>「今後の予測」</p> <p>茅室町総合計画のPDCA(計画、実行、評価、見直し)サイクルは定着しているが、PDCAそれぞれの作業が次のサイクルに反映させる取り組みを更に強化すべきである。</p>
この施策に対して住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか?	<p>施策全体が幅広い範囲であるので、施策全体に対しての意見・要望はない。</p> <p>施策評価の中で外部評価委員を含めた意見などをいただこうと考えている。</p>

5. 施策の成果向上のための具体的な取り組み(今後強化すべき取り組み、新たに実施すべき取り組み)

- ・計画・予算・評価の運動を目指しているが、評価と計画の繋がりが弱い。特に、施策の成果向上への結びつきが弱い事業については、縮小・中止・廃止の判断も必要になるが、現実的には難しく、そのための方法についても検討する必要がある。
- ・「行政経営ポリシー」に基づく具体的な取り組みを進める必要がある。
- ・公共施設等総合管理計画の目標達成に向けた、ファシリティマネジメント(資産運用)の視点を踏まえた進行管理が必要となる。

6. 総合計画推進委員会(庁内評価)

評価	公共施設の再整備については計画に基づき適正に進んでおり、公民連携の取組み、行政経営推進事業においては行政経営ポリシーの策定など、さまざまな取組みを行っており、前進したと評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果			○		
今後の取組に対する意見	第5期総合計画の適正な推進・進行管理を行い、安定的な行政運営を進めていく必要がある。	A:実現した B:(前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した C:(前期実施計画策定時と比較して)前進した D:(前期実施計画策定時と比較して)変わらない E:(前期実施計画策定時と比較して)後退した					

7. 総合計画審議会(外部評価)

評価	様々な取組を行っており、策定時と比較して前進したと評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果			○		
今後の取組に対する意見	・公共施設に関して、計画に対して住民が意見を言うのではなく、住民が自らどのように使用していきたいのかを話し合って、それを行に伝えるという新しい手法も模索していくべきである。	A:実現した B:(前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した C:(前期実施計画策定時と比較して)前進した D:(前期実施計画策定時と比較して)変わらない E:(前期実施計画策定時と比較して)後退した					